

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が活動スペースとの関係で適切であるか。	5	0	1	0	・ ホールの広さが広いので中庭や散歩に行きたい利用者さんがいる時に人数調整が難しく思える時がある。 ・ 活動ごとフロア分けできるように工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	1	1	・ 不穏な行動や自傷行為が始まった時に静養室が利用できなかつたりホールでの職員が足りなくなってしまう対応に苦慮することがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	1	1	・ 本のコーナーや玩具のコーナー静養室など子供が自分の判断で選べる居場所が作られている。 ・ みらい玄関のスロープ設置、トイレの段差の改善が必要 ・ 可能な範囲で構造化を行っている。情報伝達の方法について、個別のものをより増やしていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	0	1	・ 本、玩具等の整理・整頓等が必要では？ ・ 子どもが利用しているスペースはきれいにしている。シャワー室の片付けをしたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	0	1	・ 静養室やパーティションを活用している ・ パーティションを購入したので、効果的に使いたい。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	0	0	・ 朝の会議やみらい会議などで振り返りや共有を行なっているが参加できない職員もいるので週1でも子供たちが帰ってからの会議をも必要では？と思う。 ・ 事業計画、個別支援計画の作成等に広く職員が参画している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	1	・ 評価の他に保護者会や祝日営業などで、保護者ニーズを把握する取り組みを行っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	0	0	・ 月2回の会議や日常的な職員間のやりとりの中で意見が活発にやりとりされている。 ・ 定期的に会議を行い、児童の支援等に活用している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	1	2	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0	0	
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6	0	0	0	・ アセスメントシートの改善を行っていきたい。
	12	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	0	0	・ 会議で意見を述べたり、書面にて考えを記入している ・ モニタリング会議やケース検討で行っている。
	13	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	0	1	
	14	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	0	1	・ 記載はされているが、内容については改善が必要だと思う。
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	0	
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	0	2	・ 個別外出や親子参加型のプログラムなど、新しいことにチャレンジしてきた。既存の活動についても、子どもの状況に合わせて改善をしている。
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0	0	・ スポーツの日やクリーン大作戦などでみんなと一緒にやることは定期的に行われているが内容を前もって個々の能力に応じて決めて何故それをやるのかやったことによって子供の反応や成長が見られたことの検討ができたと思う。 ・ 計画的に児童全員が参加できる行事を行っている。

適切な支援の提供	18	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	1	1	・ 短時間パートの職員に、細かい点だが情報の共有が出来ていない時がある ・ 朝の引継ぎのみになっていて、午後からの職員との打ち合わせが口頭連絡に留まっている。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	2	0	4	0	・ iPadに記録はしているがその日その日の共有は難しい状態。気になったことや問題行動はお互いに報告している。 ・ その都度、気がついた点については確認しているが、全員での共有に至っていない時がある ・ 打合せは行ってない。必要に応じて随時職員間で振り返りがされている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	0	・ 毎日記録され、個別支援計画やケース検討等に活用されている。 ・ 毎日、児童の行動、課題等を記録している。
	21	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	0	0	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	0	1	・ ボードを使って一部の子供だが今日はお散歩に行けるか中庭で遊べるか？自身で判断して選択をし本人が納得できるようにしている。 ・ 気持ちカードや玩具カードを使用し、選択。個別にもボードを利用し、遊びや職員を選べる取り組みをしている ・ 必要に応じて個人のコミュニケーションボードを作成し、自己選択、自己決定ができるように支援している。 ・ 写真や図等で児童が欲しい物を伝えたり、児童の気持ちを表現できるように取り組んでいる。
	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	0	1	
	24	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	0	1	・ 連携している機関もあるが、より、連携を深めていきたい。
25	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	0	0		
関係機関や保護者との連携	26	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	0	1	3	・ 就学前の支援先や通所先の情報は保護者から得るものに留まっている。
	27	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	0	4	・ せふりー等、相談事業所を通じている ・ 必要に応じての対応となっているため、どのように提供していくのか検討が必要。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	0	1	3	
	29	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	0	5	1	・ 外出時に公園やおもちゃ図書館等に出席することはある。
	30	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	0	0	3	・ 富士市のこども支援連絡会や富士圏域の発達支援部会への参加をしている。
	31	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	0	・ 連絡ノートを交換しているが一方通行になってしまうことも多いので保護者のお迎えの時に気になった点や今日あったことを口頭で伝えるようにしている。 ・ 連絡帳や日々のお迎え時に丁寧にやりとりをしている。 ・ 連絡ノートや口頭で伝え合っている。
	32	家族の対応力の向上を図る観点から、家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	0	2	・ 保護者向けの勉強会や親子参加型のプログラムを祝日に企画している。
	33	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	0	3	
	34	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	0	1	・ 保護者には面接にて、子どもには日々の関わりの中から意向確認をしている。
35	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	5	0	0	1		

保護者への説明等	36	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	0	1	・定期的な面談の他、必要に応じて行っている。
	37	又母の会の活動を支援することや、休保育会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	0	2	・きょうだい交流が出来ていない ・きょうだいへの支援は取り組めていないため、要検討。
	38	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	0	1	
	39	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	0	・LINEやInstagramの開設 ・インスタグラムや公式LINE等、新たな媒体での情報発信を始めた。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	0	0	
	41	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	1	
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	0	4	2	
	43	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	2	1	・嘔吐時の対応について、訓練を実施予定 ・訓練は定期的に行われているが、マニュアルの周知を家族に行っていない。 ・防災訓練や感染症対策等対応している。
	44	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	0	
非常時等の対応	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	0	1	
	46	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	1	0	・食材、手に触れる玩具等、保護者と密に連携、確認を取っている ・指示書ではなく、保護者からの情報に応じて対応している。 ・児童の保護者を通じて対応している。
	47	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる際、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	0	1	3	・事故やヒヤリハットが確認された場合はその都度対応を検討している。研修や訓練は行われていない。
	48	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	1	2	・家族への周知が行われていない。
	49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0	0	
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	0	
	51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	0	0	1	